

件 名

令和 6 年度埼玉県指定文化財の指定及び追加指定について

提案理由

埼玉県文化財保護審議会の答申を受けて、埼玉県文化財保護条例第 5 条第 1 項、第 26 条第 1 項及び第 31 条第 1 項の規定に基づき、別紙のとおり埼玉県指定文化財の指定及び追加指定をしたいので、審議願います。

概 要

1 新たに埼玉県指定文化財に指定するもの

文化財の種類	指定の種別	件 数
有形文化財	県 指 定 有 形 文 化 財	1
民俗文化財	県 指 定 有 形 民 俗 文 化 財	1
記 念 物	県 指 定 天 然 記 念 物	4

※県指定有形文化財の内訳は、典籍 1 件

2 埼玉県指定文化財に追加指定するもの

文化財の種類	指定の種別	件数
記念物	県指定天然記念物	1

3 指定及び追加指定の年月日
令和7年3月14日（予定）

令和6年度埼玉県指定文化財 指定候補一覧

	指定の種別	名称及び員数	所有者 (管理者)	所有者住所(所在地) 又は所在地
1	県指定 有形文化財	こんしきんじほけきょう 紺紙金字法華経 8巻	宗教法人徳性寺 ^{とくしょうじ} (歴史と民俗の 博物館寄託)	加須市大越 ^{おおごえ} 1984 番地(さいたま市 大宮区高鼻町4丁目 219番地)
2	県指定 有形民俗 文化財	きむすびじんじゃ ぶたい 木魂神社の舞台 1棟	宗教法人 木魂神社	秩父郡小鹿野町 下小鹿野字上津谷木 ^{かみつやぎ} 3301番地
3	県指定 天然記念物	ちちぶさんち 秩父山地のニホンオオカミ ひょうほん けがわひょうほん 標本 毛皮標本 2点	宗教法人三峰神 社(秩父宮記念 三峰山博物館)	秩父市三峰298 番地1(秩父市三峰 298番地2)
4	県指定 天然記念物	ちちぶさんち 秩父山地のニホンオオカミ ひょうほん とうこつ 標本 頭骨 1点	個人	秩父郡長瀬町 大字井戸

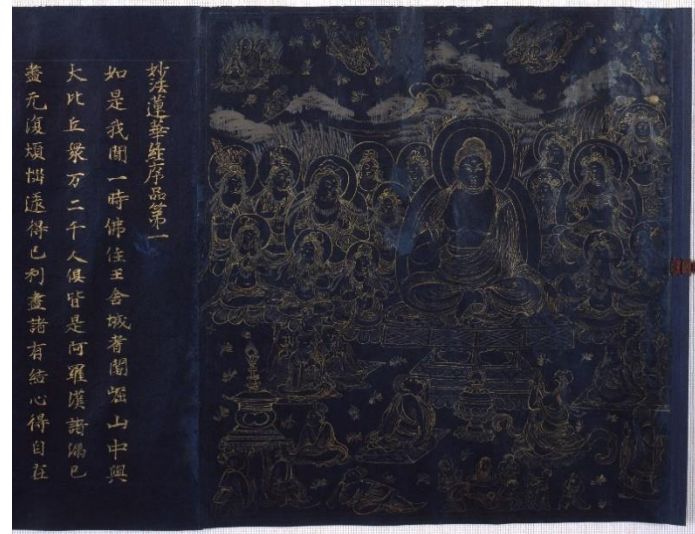
	指定の種別	名称及び員数	所有者 (管理者)	所有者住所(所在地) 又は所在地
5	県 指 定 天然記念物	ち ち ぶ さ ん ち 秩父山地のニホンオオカミ ひょうほん 標本 とうこつ 頭骨 1 点	個人	比企郡ときがわ町 大 字 西 平
6	県 指 定 天然記念物	ち ち ぶ こうざんさんこうぶつ 秩父鉾山産鉾物 ・ がんせき 岩石 ひょうほん 標本 1 4 2 点 つきたり 附 かんれんしりょういっしき 関連資料一式	埼玉県 (自然の博物館)	秩父郡長瀬町 大 字 長 瀬 1 4 1 7 番地 1

新たに埼玉県指定文化財に指定するもの

1 紺紙金字法華經（県指定有形文化財・典籍）

加須市

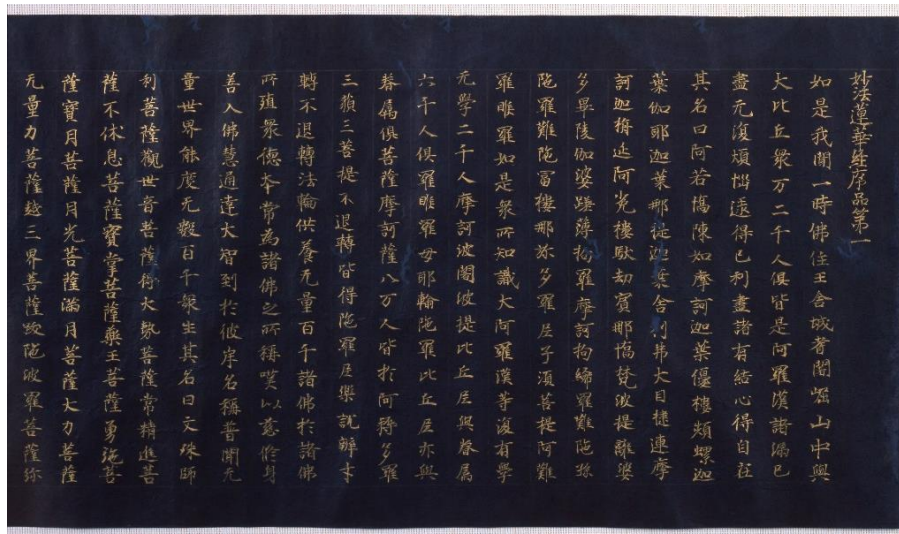
- ・加須市大越^{おおごえ}に所在する徳性寺^{とくしょうじ}は、鎌倉時代初期の武将小山朝政^{おやまともまさ}の祈願所とされ、後に小山義政^{よしまさ}が再興したと伝わる真言宗寺院である。
- ・本經（徳性寺本）は、円仁^{えんにん}筆の伝承を持つ延暦寺蔵紺紙銀字法華經^{えんりやくじ こんしぎんじほけきょう}（延暦寺本、重要文化財）若しくは古い転写本を写したもので、その制作は12世紀半ばから後半までと推定されている。延暦寺本は、斜め向きの釈迦^{せっぽうず}說法図を切れるような線描で表し、法華經の經意^{きょうい}絵を一画面に多数描くことに特色がある。
- ・本系統の写經は、これらを含め、現在僅かに6件が確認されるのみである。
- ・徳性寺本は、制作当初の見返し^{みかえ}絵が完存する唯一の經卷^{きょうかん}であるだけでなく、書風や表紙絵、見返し絵の表現も他本と比較して忠実に転写がなされており、延暦寺本及びその系統の法華經写經を研究する上で、重要な資料である。
- ・これらのことから、本件は「典籍」として歴史上の価値が高く、本県にとって重要なものである。



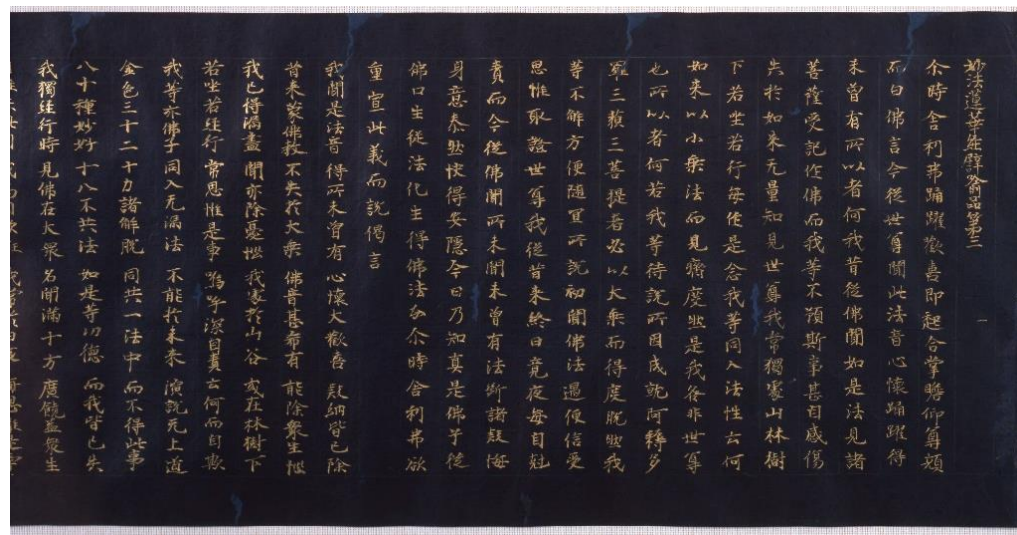
同 見返し



同 見返し



紺紙金字法華經 卷第一



紺紙金字法華經 卷第二

2 木魂神社の舞台（県指定有形民俗文化財）

小鹿野町

- ・ 本件は、昭和25年竣工、瓦葺の寄棟造りで、間口約10メートル、奥行約5.4メートル、花道、常設の棧敷、二重舞台を備える。かつて当地には神楽を奉納するための神楽殿があったが老朽化し、昭和25年、地元（下小鹿野津谷木地区）に伝わる歌舞伎も上演できる舞台として再建された。
- ・ 標高320メートルの山頂部に立地し、最も高い場所に木魂神社の本殿・拝殿、その横の緩斜面に観客席があり、やや低い場所に舞台が設けられている。舞台裏手は更に低くなっており、高低差を利用して床下に楽屋が設けられている。
- ・ 秩父地域の荒川左岸の村々には、江戸時代末から明治時代の養蚕・製糸業が盛んな時期に、競って舞台が建てられた。本件は、他の舞台の状況も踏まえて使いやすいうように様々な工夫が施され、秩父地域で建てられてきた民俗芸能舞台の「集大成」的存在である。
- ・ これらのことから、本件は県民の生活文化とその推移の理解のため欠くことができず、本県にとって重要なものである。



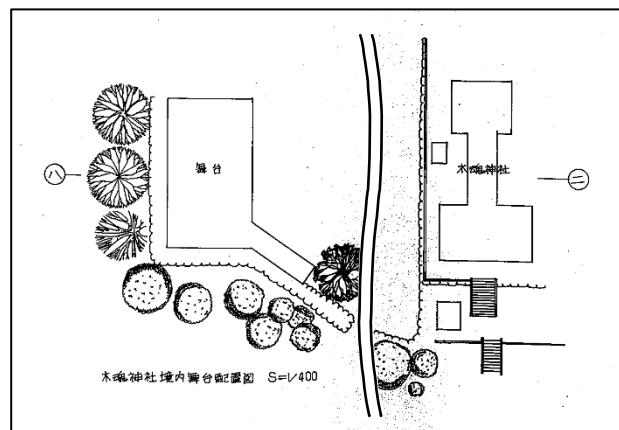
拝殿から観客席、舞台を望む



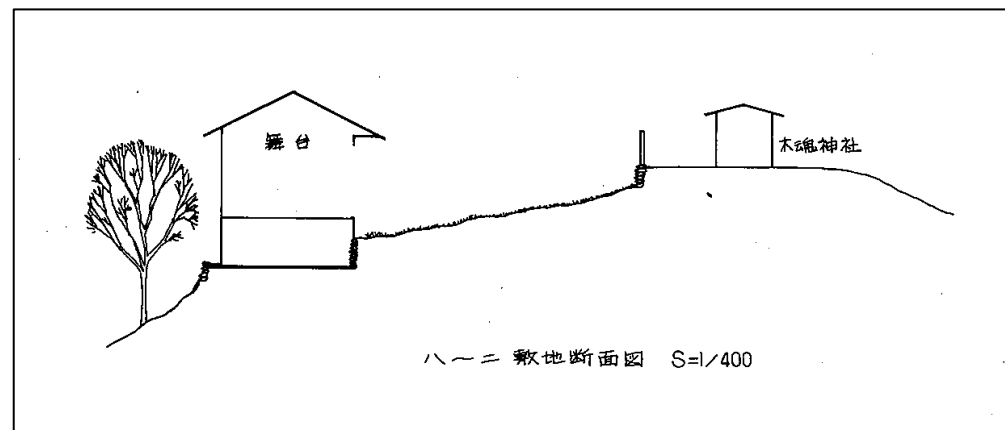
舞台内部・二重舞台



観客席・舞台前面



神社境内舞台配置図



敷地断面図

『埼玉県民俗芸能緊急調査報告書 第三集 埼玉の地芝居』埼玉県教育委員会（1981）に一部加筆

3・4・5 秩父山地のニホンオオカミ^{ちちぶさんち}標本^{ひょうほん} 毛皮^{けがわ}標本^{ひょうほん}・頭骨^{とうこつ}

(県指定天然記念物)

秩父市・長瀬町・ときがわ町

- ・ニホンオオカミは明治38年（1905年）に奈良県で捕獲された個体が最後の記録とされる絶滅種で、世界的に標本が少ない（著名なものとしては、本剥^{ほんはく}製^{せい}5点、毛皮標本9点（今回の指定候補を含む。）、全身骨格標本2点など）。
- ・その中で、秩父地域周辺の民家には、江戸時代から明治時代にかけて秩父山地で獲られたと伝わる毛皮や頭骨などが、複数残されている。
- ・これらは魔除けなどに利用されたもので、秩父地域の風習を伝える民俗資料であるとともに、オオカミを^{まつ}祀る三峯神社に代表される地域の信仰や、人々とオオカミとの結び付きを示す資料でもある。
- ・比較的狭い範囲にまとまった数の資料が残され、今後、絶滅種ニホンオオカミの形態、生態、遺伝情報等の研究が進められる上でも重要な自然史標本である。
- ・これらのことから、本件は「動物」の分野において学術上の価値が高く、本県にとって重要なものである。



三峯神社蔵 毛皮標本（秩父市蒔田伝来、伝三峰山産）



三峯神社蔵 毛皮標本（秩父市寺尾伝来、伝名栗・青梅方面産）



個人蔵 頭骨（長瀬町井戸伝来、伝長瀬産）



個人蔵 頭骨（ときがわ町西平伝来、伝飯盛峠産）

秩父山地のニホンオオカミ標本

6 秩父^{ちちぶ}鉱山産^{こうざんさんこうぶつ}鉱物・岩石^{がんせきひょうほん}標本 附^{つけたり} 関連資料一式^{かんれんしりょういっしき}（県指定天然記念物）長瀬町

- ・ 秩父市中津川^{なかつがわ}に位置する秩父^{ちちぶ}鉱山は、かつて鉄・銅・亜鉛・鉛・金・マンガンなどの金属鉱物を産出する埼玉県最大の金属鉱山であった。その歴史は古く、^{けいちよう}慶長13年（1608年）には金が採掘された記録があり、その後、発明家や^{ほんぞうがくしゃ}本草学者として知られる^{ひらがげんない}平賀源内も金鉱脈を探しに訪れた記録がある。
- ・ 本件は、同鉱山で採掘を行っていた株式会社ニッチツの現地事業所の閉鎖に伴って令和4年に自然の博物館に寄贈された、鉱物標本134点、岩石標本8点からなるコレクションと、その関連資料である。
- ・ 同鉱山最盛期（昭和26年から40年頃まで）に採掘された鉱物が中心で、国内でも第一級の稀有な産状（結晶の質、大きさ等）を示す標本が多数含まれる。
- ・ 産出した^{こうしょう}鉱床や産出地点が記録された標本もあり、関係者への聞き取りメモや地質図等も残され、鉱床学・鉱物学上の研究資料としても重要である。
- ・ これらのことから、本件は「地質鉱物」の分野において学術上の価値が高く、本県にとって重要なものである。



毛鉍 Mi3158



閃亜鉛鉍 Mi3159



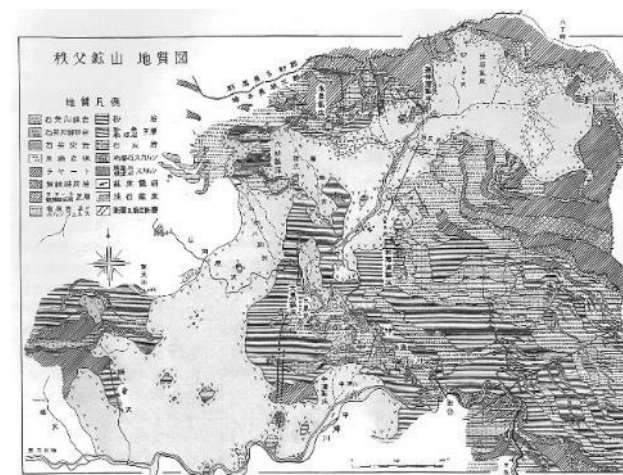
黃鉄鉍 Mi3181



磁鉄鉍 Mi3190



石英・方解石・黄鉄鉍 Mi3242



図面類 (附)

秩父鉍山産鉍物・岩石標本 附 関連資料一式

秩父鉱山産鉱物・岩石標本 附 関連資料一式 資料一覧

鉱物標本一覧

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3120	自然金	25×34×12
Mi3121	自然金	6×4
Mi3122	自然金	5.3×3.2
Mi3123	自然金	5×4
Mi3124	自然金	5×4
Mi3125	自然金	6×4.8
Mi3126	自然金	5×3.8
Mi3127	自然金	4×3.3
Mi3128	自然金	3.7×3
Mi3129	自然金	3.3×2.5
Mi3130	自然金	3×1
Mi3131	自然金	3.5×3
Mi3132	自然金	3×2.2
Mi3133	自然金	3×3.2
Mi3134	自然金	3.3×2.8
Mi3135	自然金	7×4.8
Mi3136	自然金	7.5×5
Mi3137	自然金	5.5×5
Mi3138	自然金	5.5×4.8
Mi3139	自然金	8.5×6

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3140	自然金	8×6
Mi3141	自然金	2×1.5
Mi3142	自然金	4×2
Mi3143	自然金	2×1.8
Mi3144	自然金	3.8×2
Mi3145	自然金	4×3
Mi3146	自然金	3×2
Mi3147	自然金	3.3×2.7
Mi3148	自然金	4.5×2.8
Mi3149	自然金	4×3.8
Mi3150	自然金	10.5×8
Mi3151	自然金	10×8
Mi3152	自然金	3.2×2.5
Mi3153	自然金	4.5×2.3
Mi3154	自然金	シャーレ入り
Mi3155	車骨鉱	25×18×27
Mi3156	閃亜鉛鉱	90×65×40
Mi3157	閃亜鉛鉱・黄銅鉱	29×29×48
Mi3158	毛鉱（写真）	42×35×30
Mi3159	閃亜鉛鉱（写真）	70×55×40

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3160	閃亜鉛鉱・黄鉄鉱	29×21×14
Mi3161	閃亜鉛鉱・黄鉄鉱	18×15×15
Mi3162	閃亜鉛鉱	20×13×10
Mi3163	閃亜鉛鉱	17×8×7
Mi3164	方鉛鉱	23×21×14
Mi3165	セムセイ鉱・方鉛鉱	18×11×8
Mi3166	方鉛鉱	17×14×11
Mi3167	方鉛鉱	8×6×3
Mi3168	黄銅鉱	25×20×15
Mi3169	黄銅鉱	31×34×25
Mi3170	黄銅鉱・黄鉄鉱	25×18×10
Mi3171	黄銅鉱・閃亜鉛鉱	13×10×17
Mi3172	黄銅鉱	9.5×8×7
Mi3173	黄銅鉱	8×7×6
Mi3174	硫砒鉄鉱	12×8×8
Mi3175	硫砒鉄鉱	10×4×4.5
Mi3176	黄鉄鉱	25×20×17
Mi3177	黄鉄鉱	9×4×2.5
Mi3178	黄鉄鉱	39×20×23
Mi3179	黄鉄鉱	43×43×20

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3180	黄鉄鉱	22×20×14
Mi3181	黄鉄鉱（写真）	60×43×25
Mi3182	閃亜鉛鉱	50×32×15
Mi3183	閃亜鉛鉱・黄鉄鉱	20×20×9
Mi3184	閃亜鉛鉱・黄鉄鉱	23×18×12
Mi3185	黄鉄鉱・磁鉄鉱・黄銅鉱	54×33×14
Mi3186	磁鉄鉱	17×12×14
Mi3187	（葉片状）磁鉄鉱	26×26×17
Mi3188	赤鉄鉱	18×18×11
Mi3189	マンガン鉱	33×23×23
Mi3190	磁鉄鉱（写真）	73×42×15
Mi3191	褐鉄鉱	15×14.5×9
Mi3192	褐鉄鉱	24×14×18
Mi3193	褐鉄鉱	24×25×10
Mi3194	褐鉄鉱	12×12×20
Mi3195	褐鉄鉱	9×5×4
Mi3196	褐鉄鉱	8.5×7×6.5
Mi3197	褐鉄鉱	12×11×11
Mi3198	褐鉄鉱	6.5×4×2.5
Mi3199	褐鉄鉱	9.5×4×3

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3200	褐鉄鉱	16×4×3
Mi3201	褐鉄鉱	15×16×12
Mi3202	褐鉄鉱	36×14×17
Mi3203	磁鉄鉱	20×18×10
Mi3204	磁鉄鉱	6×6×15.5
Mi3205	磁鉄鉱	9×10×8.5
Mi3206	赤鉄鉱	30×25×11
Mi3207	磁硫鉄鉱	20×9×8
Mi3208	磁硫鉄鉱	20×15×9
Mi3209	横須賀石	18×10×10
Mi3210	轟石	18×14×10
Mi3211	菱マンガン鉱	20×13×20
Mi3212	菱マンガン鉱	13.5×8×6
Mi3213	毛鉱・閃亜鉛鉱	12×8×6
Mi3214	輝安鉱	12×6×6
Mi3215	輝安鉱	6×5×5
Mi3216	輝安鉱	7×4×4
Mi3217	褐鉄鉱	36×38×17
Mi3218	褐鉄鉱	36×25×15
Mi3219	褐鉄鉱	31×24×17

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3220	磁鉄鉱	14×14×10
Mi3221	石膏（透石膏）	12×8×8
Mi3222	石膏	7×5×4
Mi3223	石膏	20×20×10
Mi3224	石英	17×13×9
Mi3225	霏石	14×9.5×9.5
Mi3226	玉髓	13×13×13
Mi3227	珪灰鉄鉱・灰鉄輝石	15×13×11
Mi3228	鉄斧石	14×13×7
Mi3229	灰礬石榴石	13.5×10×9.5
Mi3230	灰鉄石榴石	7×8×4.5
Mi3231	クリントン石・ベスブ石	27×16×11
Mi3232	スカルン・亜鉛鉱石	18×11×8
Mi3233	灰鉄石榴石	12×9×7
Mi3234	石膏	14×9×4
Mi3235	方解石	13×10×10
Mi3236	石英・方解石	20×15×17
Mi3237	石膏	22×19×14
Mi3238	苦灰石・方解石・アンケル石	21×16×12
Mi3239	方解石	30×18×10

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3240	方解石	32×14×16
Mi3241	方解石	44×18×26
Mi3242	石英・方解石・黄鉄鉱（写真）	25×22×20
Mi3243	石英・菱鉄鉱・閃亜鉛鉱・方解石	34×28×9
Mi3244	磁鉄鉱	27×29×18
Mi3245	黄鉄鉱	20×18×11
Mi3246	閃亜鉛鉱・黄鉄鉱	23.5×19×12.5
Mi3247	閃亜鉛鉱・黄銅鉱	28×23×23
Mi3248	車骨鉱・閃亜鉛鉱・黄鉄鉱・硫砒鉄鉱	12×9.5×7
Mi3249	黄鉄鉱・磁鉄鉱・方解石	26×18×18
Mi3250	磁鉄鉱	14×7×7
Mi3251	方解石	15×10×8
Mi3252	方解石	14×10×7
Mi3253	磁鉄鉱	34×22×16

岩石標本一覧

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Ro1124	チャート	16×17×9
Ro1125	石英閃緑岩	22×17×12
Ro1126	石灰岩	22×13×10.5
Ro1127	石英斑岩	8.5×7×4
Ro1128	砂岩	12×10×6
Ro1129	石英閃緑ひん岩	13×11×8
Ro1130	チャート	18×11×9
Ro1131	珪石（砂質ホルンフェルス）	28×29×11

附

登録番号	名 称	大きさ(cm)
Mi3254	精鉱見本	粉末状鉱
—	図面類 一式	—

令和 6 年度埼玉県指定文化財 追加指定候補一覧

	指定の種別	名 称	所有者	所在地	面積
1	県 指 定 天然記念物	なかがわていち かはん さきゅうぐん 中川低地の河畔砂丘群 たかのさきゅう 高野砂丘	杉戸町	北葛飾郡杉戸町 しもの やまあい 大字下野字山合 8 4 9 番	5 2 0 m ²

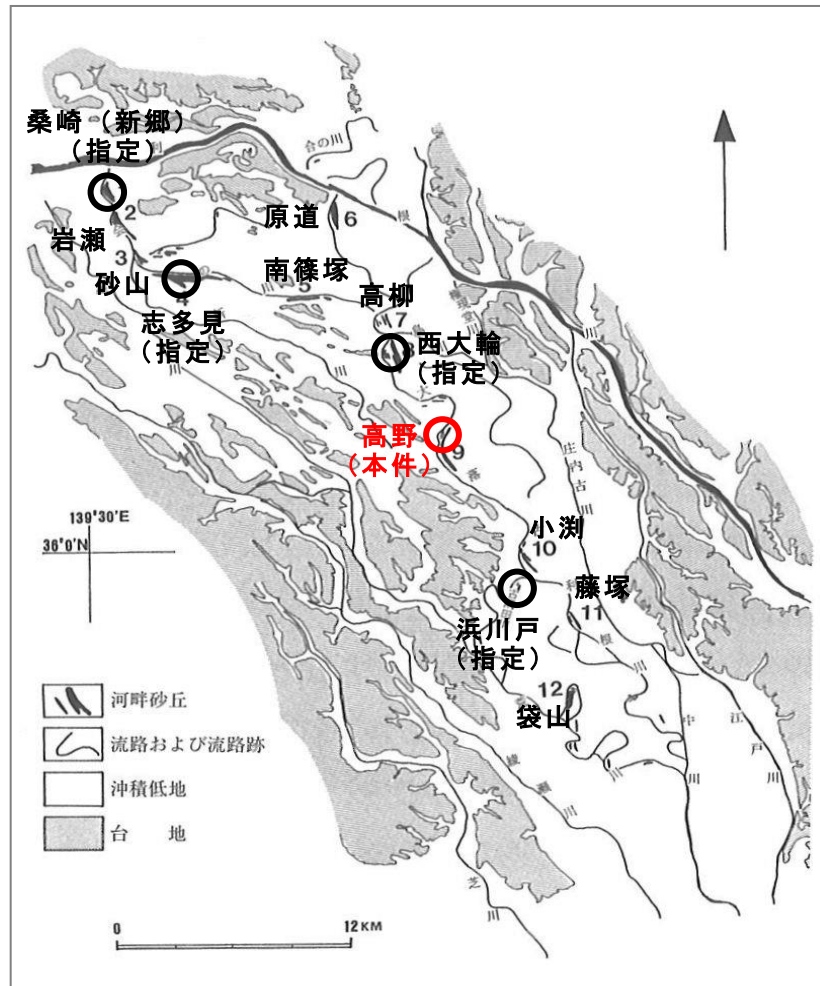
埼玉県指定文化財に追加指定するもの

1 なかがわていち 中川低地かはんさきゅうぐんの河畔砂丘群 たかのさきゅう 高野砂丘（県指定天然記念物）

杉戸町

- ・ 県東部の中川低地には、火山灰等に由来する大量の砂が平安時代から室町時代までの強い季節風に吹きためられて形成された「かはんさきゅう 河畔砂丘」が、利根川の旧河道沿いに点々と分布する。
- ・ 内陸性の砂丘は全国的にも珍しく、また、砂の分析や出土遺物しゅつどいぶつから形成のメカニズムや年代が明らかになっている点でも学術上重要であり、県教育委員会では保存状態の良好な場所5件を県指定天然記念物に指定している。
- ・ そのうち杉戸町のたかのさきゅう 高野砂丘は、大落古利根川おおおとしふるとねがわの東側に位置し、長さ2,800メートル、幅85メートルの範囲に広がり、指定地の八幡神社周辺では砂丘の起伏（比高約7メートル）や堆積した砂の様子を観察することができる。
- ・ 本追加指定候補地は、既指定地（八幡神社境内地及び下野しもの森）に隣接した土地であり、地形の保存状態は良好で既指定地と一連のものとして評価でき、埼玉の大地の成り立ちを理解する上で重要な場所である。

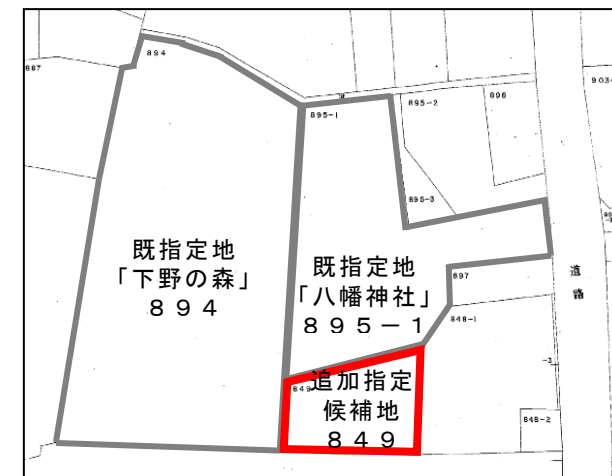
- これらのことから、本件は「地質鉱物」の分野において学術上の価値が高く、本県にとって重要なものである。



中川低地の河畔砂丘群 主な砂丘の分布
『埼玉の地質をたずねて【改訂版】』（築地書館、2012）に加筆



追加指定候補地



既指定地と追加指定地の位置・地番